

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



『ひよこさん』  
さく：征矢 清  
え：林 明子  
出版社：福音館書店

日中はまだまだ暑い日が多いのですが、朝・夕と少しずつ秋の風が感じられるようになりましてね。夜には虫の音が聞こえ、心地よく過ごしやすい夜になってきました。今月はそんな夜にぴったりの『ひよこさん』を紹介したいと思います。この絵本は「赤ちゃんとお母さんお父さんとの豊かなふれあいの時間を作る」ことをコンセプトにした、福音館書店の月刊誌『0.1.2.絵本』から生まれました。

絵本の主人公は小さなひよこさん。ひよこさんがおでかけします。でもだんだん暗くなってきて、歩けなくなってしまいます。そして、はっぱのお布団をかけて眠ってしまいます。お母さんは眠っているひよこさんをやっと見つけます。そして優しく包み込み一緒に眠ります。次の日はお母さんとひよこさんが一緒におうちに帰っていくというシンプルなストーリーです。

0歳から1歳さらに2歳にかけて、子どもたちは歩いたり、走ったりできるようになってきます。そんなとき、お父さんやお母さんから離れてちょっと、活動範囲が広がることもたちの姿とひよこさんの姿が重なるのが、この絵本のいいところの一つだと思います。

興味の赴くまま、うっかり遠出をしてしまったひよこさん。でもちゃんと、お母さんは探し出してくれました。遠出したことを怒らず、何も言わずそっとあたためて、一緒に眠ってくれました。その場面は、何ともあたたかく、心地よい感じにさせてくれます。

下の絵をご覧になっていただくとお分かりになるように、とてもきれいな絵です。さらに、ページの四に丸みをもたせ、絵本全体でかわいらしさ、柔らかさが感じられる印象を受けました。ぜひ、眠る前に、お布団の中で読んでいただき、ほっこりとした気分を味わっていただけたらと思います。

